

Power over Ethernet (PoE) 設定 on Cisco 200/300 シリーズの設定はスイッチを管理しました

目標

Power over Ethernet (PoE) はスイッチがデータを送信する同じイーサネット ケーブルによって接続装置に電源を提供するようにします。これは IP 電話およびワイヤレスアクセスポイントのような電源デバイスに別途の電源コードのための必要を省きます。

この資料の目標は管理される 200/300 シリーズの PoE 設定を行う方法をユーザが切り替えることを示すことです。

適当なデバイス

- SF/SG 200 および 300 シリーズによって管理されるスイッチ

[Software Version]

- 1.3.0.62

PoE 設定の設定

ポート制限

注: このセクションはポート限界 PoE モードのための *Settings* ページを説明します。
[Power over Ethernet \(PoE \) Properties 200/300 シリーズによって管理されたスイッチの記事](#) [設定](#) のステップ 2 のクラス限界を [on Cisco](#) 選択した場合、下記のクラス限界はよばれるにセクション行きます。

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは **管理 > PoE > 設定** を『Port』を選択し。 *Settings* ページ PoE は開きます:

ステップ 2. 設定を編集したく、 **Edit ボタン** をクリックするポートの Radio ボタンをクリックして下さい。

編集 PoE Settings ウィンドウは現われます。

Interface:	Port	FE35
PoE Administrative Status:	<input checked="" type="checkbox"/>	Enable
Power Priority Level:	<input type="radio"/>	Critical
	<input checked="" type="radio"/>	High
	<input type="radio"/>	Low
Administrative Power Allocation:	10000	mW (Range: 0 - 15400, Default: 15400)
Max Power Allocation:	16900	mW
Power Consumption:	0	mW
Overload Counter:	0	
Short Counter:	0	
Denied Counter:	0	
Absent Counter:	0	
Invalid Signature Counter:	0	

Apply Close

ステップ 3. (オプションの) はドロップダウン リストから編集するためにポートを選択します。

ステップ 4 ポート上で PoE を有効にするために PoE 管理 ステータス フィールドの Enable チェックボックスをチェックして下さい。

ステップ 5.ポートの電力優先順位と対応する Radio ボタンをクリックして下さい。

ステップ 6.管理上の電源アロケーション フィールドのポートに割り当てられる milli W で電源を入力して下さい。

次の情報はまた Settings ページで表示されます:

- 最大電源アロケーション— 『Port』 を選択 されるで許可される電源の最大容量。
- パワー消費量—動力を与えられたデバイスに割り当てられるポートに接続されるミリワットの電力量。
- その過負荷反回数はずっと電源過負荷です。
- その短い反回数はずっと電源不足です。
- 否定された反回数は動力を与えられたデバイス電源を否定されました。
- 電源不在反回数は動力を与えられたデバイスが検出されなかったので停止しました。

- 無効な無効なシグニチャが受け取られたシグニチャ反回数。

ステップ 7.変更を保存し、次に出口の近くで編集 PoE Settings ウィンドウをクリックするために『Apply』をクリックして下さい。

クラス制限

注: このセクションはクラス限界 PoE モードのための Settings ページを説明します。

[Power over Ethernet \(PoE \) Properties 200/300 シリーズによって管理されたスイッチの記事設定](#)のステップ 2 の限界を [on Cisco](#) 『Port』 を選択した場合、この資料の始めにポート限界はよばれるにセクション行きます。

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは管理 > PoE > 設定を『Port』 を選択し。Settings ページ PoE は開きます。

ステップ 2.設定を編集したく、Edit ボタンをクリックするポートの Radio ボタンをクリックして下さい。

編集 PoE Settings ウィンドウは現われます。

Interface:	Port	FE17 ▾
PoE Administrative Status:	<input checked="" type="checkbox"/>	Enable
Power Priority Level:	<input type="radio"/>	Critical
	<input checked="" type="radio"/>	High
	<input type="radio"/>	Low
Class:		3
Max Power Allocation:		16900 mW
Power Consumption:		0 mW
Overload Counter:		0
Short Counter:		0
Denied Counter:		0
Absent Counter:		0
Invalid Signature Counter:		0

ステップ 3. (オプションの) はドロップダウン リストから編集するためにポートを選択します。

ステップ 4 ポート上で PoE を有効にするために *PoE 管理* ステータスフィールドの **Enable** チェックボックスをチェックして下さい。

ステップ 5.ポートの電力優先順位と対応する Radio ボタンをクリックして下さい。

次の情報はまた *Settings* ページで表示されます。

- class —受け取る端デバイスがことのできる電力レベルを判別します。
- 最大電源アロケーション— 『Port』 を選択されるで許可される電源の最大容量。
- パワー消費量—動力を与えられたデバイスに割り当てられるポートに接続されるミリワットの電力量。
- その過負荷反回数はずっと電源過負荷です。
- その短い反回数はずっと電源不足です。
- 否定された反回数は動力を与えられたデバイス電源を否定されました。
- 電源不在反回数は動力を与えられたデバイスが検出されなかったので停止しました。
- 無効な無効なシグニチャが受け取られたシグニチャ反回数。

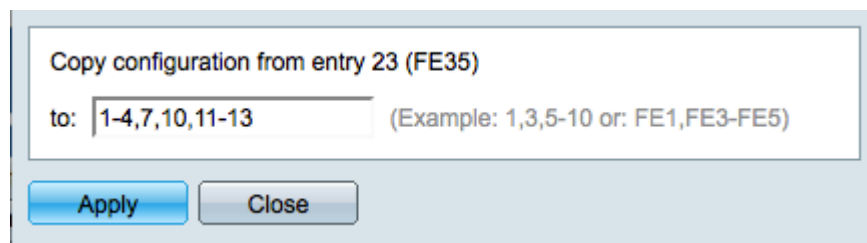
ステップ 6.変更を保存し、次に出口の近くで編集 *PoE Settings* ウィンドウをクリックするために 『Apply』 をクリックして下さい。

PoE ポート設定をコピーして下さい

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは管理 > PoE > 設定を 『Port』 を選択し。 *Settings* ページ PoE は開きます。

呼び出します。ポートの PoE 設定を他の複数のポートにコピーするために、望ましいポートの Radio ボタンをクリックし、設定を『Copy』をクリックして下さい。

コピー Settings ウィンドウは現われます。



Copy configuration from entry 23 (FE35)

to: (Example: 1,3,5-10 or: FE1,FE3-FE5)

ステップ 3. 『Port』 を選択 されるの設定をコピーしたいポートのポート番号かポート名を入力して下さい。

ステップ 4.設定を加えるか、またはキャンセルの近くで設定をクリックするために 『Apply』 をクリックして下さい。